

令和7年度 第9回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年12月24日（水）10時

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・今回が令和7年最後の会議となる。今年度は大きな事業を行っており、中でも自営線マイクログッド構築事業と小水力発電所建設事業についてはそれぞれ請負業者も決まり、今工事をしっかり行っており、小水力発電に係る発電機を発注したというような状況である。
- ・その他の令和7年度事業の進捗状況も、この後事務局から説明する通り、それぞれ皆様のご協力のおかげで、計画どおりに進んでいくと思っている。
- ・今年度のPPA事業は、村営住宅や民家との契約件数も伸びてきており、民家、公共施設、事業所を含め、これまで89件ということで、それだけ良好に事業が進んでいる。また、(株)いくさかてらすとの契約件数としては10月末で111件と聞いており、来年度はこの数字をいかに伸ばしていくかが重要だと思っている。この会議で皆さんから色々なご提言をいただいて、しっかりとこの脱炭素先行地域づくり事業を推進していきたい。

【協議事項】

○令和7年度の事業進捗状況

- ・以下の項目について、発注状況や申請状況などの進捗を説明。
 - ・LED照明・省エネ機器導入補助事業
 - ・自営線マイクログリッド構築事業
 - ・公共施設LED照明・省エネ機器導入事業
 - ・生坂ダム小水力発電事業
 - ・木質バイオマス関連（ストーブ導入補助含む）
 - ・既存住宅・古民家断熱改修補助事業
 - ・公用車EVカーシェアリング
 - ・村営住宅ZEH建設
 - ・デマンドレスポンス
 - ・太陽光パネル設置
 - ・効果促進事業

- ・ デマンドレスポンスで使用される IoT ノードがどのようなものか質問があり、各家庭の電力消費量を把握する機器であると説明。

○上生坂マイクログリッド工事の進捗について

- ・ 配管掘削工事、電線ケーブル設置工事、電柱設置工事、蓄電池設置工事の全体工程と、各施工業者の進捗状況、今後の予定等について説明。
- ・ 中部電力との協議状況に関する質問があり、余剰電力の逆潮流についての申請が進められており、来年4月～5月に工事を行い、6月中の切替完了を目指している状況であると説明。また、小水力発電の電力については、太陽光発電とは別途協議が必要であると説明。

○広報計画について

- ・ EV バス関連ポスターをバス車内やバス停へ掲示したこと、事業内容をシリーズ化したPR動画の制作やボードゲームによる理解促進を図る案を計画していること等について説明。
- ・ 災害時でも電力を確保している生坂村の姿を「漫画」で紹介したり、「再エネによって地域にお金がとどまる仕組み」を伝えるのに漫画を活用したりするアイデアはどうかという意見があった。

○村内脱炭素関連設備の申請・導入状況について（12月時点）

- ・ 省エネ機器、木質ストーブ、太陽光発電設備、断熱改修、太陽集熱器の各地区における申請・導入件数について説明。

○その他

- ・ 龍と子 Vol. 24 の内容について説明。
- ・ 昭津区のオフサイト太陽光発電設備設置状況について説明。

- ・令和8年1月25日（日）午前10時から「薪・ペレットストーブフェア」を道の駅いくさかの郷で開催する予定であると説明。松本山雅より、会場選定や認知度向上、補助申請のサポート体制などに関する提案があった。
- ・企業組合 山仕事創造舎より、森林整備の状況について、健全木は土木用材として販売し、不健全木は薪やチップとして活用すること、今後は伐採対象を不健全木に限定し、持続可能な資源循環の構築を目指すこと、等の説明があった。

【意見・質問】

- ・生坂村の地方公共団体実行計画におけるCO₂削減量の統一的な広報を検討してほしいという意見があった。
- ・昭津区のオフサイト太陽光発電設備への防犯カメラ設置に関する意見があった。